

# 2023年 国公立大入試日程決定

一般選抜の出願締切日2月3日に！  
他に第1段階選抜の結果発表日などが変更

旺文社 教育情報センター 2022年6月28日

国立大学協会(国大協)は6月14日、公立大学協会(公大協)は6月27日、2023年入試の日程や方法を定めた「実施要領」改訂版を公表した。6月に入り文部科学省、大学入試センターから、2023年入試の方針や共通テストに関する日程などが公表されたことを受け、従来公表していた日程を改めた。一般選抜の出願期間が延びるなどの変更が示された。

## ■ 2023年国公立大の入試は、2022年入試と同様の日程となった

### POINT

- ◎ 共テ「本試験」=1月14・15日。「追(再)試験」=1月28・29日。
- ◎ 大学入試センターから大学への「受験生の共テ成績の提供」=2月6日以降。
- ◎ これら決定を受け、国立大・公立大の入試実施方法を定める「実施要領」が改訂された。
  - 「一般選抜の出願期間」「前期・後期 第1段階選抜の結果発表日」
  - 「後期・公立大中期 合格発表日」
  - 「学校推薦型選抜(共テを課す)／総合型選抜の合格発表日」
  - 「学校推薦型選抜・総合型選抜の入学手続日」などが改訂。

国大協・公大協ともに昨年時点で、通常の共テ日程(本試験⇒追試験の間隔は1週間)を前提として、2023年入試の「実施要領」を公表していた。

6月3日文科省は「大学入学者選抜実施要項」を、6月10日大学入試センターは「共通テスト実施要項」を、それぞれ公表。共テ「本試験」と「追(再)試験」の間隔が2週間であることや、大学への「受験生の共テ成績の提供日程」などの詳細な日程が明らかになった。これらの決定を受け、両協会とも2023年入試の「実施要領」を改訂した。

コロナ禍の収束が見通せないなか、2023年入試日程は、コロナ禍2年目の2022年入試と同様になった。なお、両協会の「実施要領」改訂が出る前に、選抜要項で日程を公表している大学もある。それらの大学は入試日程の変更が、ホームページや募集要項で示される。

なお、「実施要領」改訂版では、一般選抜の出願について両協会とも、「出願期間を考慮して、2月3日の消印有効とするなどの配慮に努めるものとする」と記している。これは前年も同様だった。ただ実際には、締切日必着(締切時間指定の場合も)、締切日消印有効、前々日の消印は有効など、大学によって扱いはさまざまのため、注意が必要だ。

[次ページに、改訂された国公立大入試の主な日程を掲載]

■2023年 国公立大入試「実施要領」で改訂された主な日程

		改訂前 → 改訂後		
一般選抜	出願期間		1月23日～2月1日	1月23日～2月3日
	前期日程	第1段階選抜の結果発表	2月8日まで	2月14日まで
		試験実施	2月25日から	変更ナシ
		合格発表	3月6日～10日 (公立大は3月1日～10日)	変更ナシ
		入学手続	3月15日まで	変更ナシ
	公立大 中期日程	第1段階選抜の結果発表	2月18日まで	変更ナシ
		試験実施	3月8日以降	変更ナシ
		合格発表	3月20日～24日 (できるだけ23日まで)	3月20日～23日 (できるだけ22日まで)
		入学手続	3月27日まで	変更ナシ
	後期日程	第1段階選抜の結果発表	2月28日まで	3月3日まで
		試験実施	3月12日以降	変更ナシ
		合格発表	3月20日～24日 (できるだけ23日まで)	3月20日～23日 (できるだけ22日まで)
		入学手続(国立大)	3月27日まで	3月26日まで
		入学手続(公立大)		変更ナシ
	学校推薦型選抜 総合型選抜	合格発表 (学校推薦型[共テを課さない])	1月20日まで	変更ナシ
合格発表 (学校推薦型[共テを課す]／総合型)		2月8日まで	2月14日まで	
入学手続		2月15日まで	2月20日まで	

※国立大学協会・公立大学協会「2023年度入学者選抜についての実施要領」をもとに作成。

※欠員補充第2次募集、追試験等の情報は割愛。

※入試日程などは今後、新型コロナの感染状況等で変更される可能性がある。

(2022.6 加納)

※参考: 文部科学省「大学入学者選抜実施要項」に関する弊社記事(2022年6月7日配信)。

※参考: 大学入試センター「共通テスト実施要項」に関する弊社記事(2022年6月13日配信)。